

消 防 団

消 防 団

消 防 团 の 概 要

1. 消 防 团 の 組 織

消防団は、消防署とともに行政区域を単位として設置しており、札幌市消防団条例に基づき、10消防団・10本部・72分団、定員2,150人の構成をもって組織している。

〈構成図〉(令和6年4月1日現在)

市 長	中央消防団	1 本 部	13分団
	北 消 防 団	1 本 部	11分団
	東 消 防 団	1 本 部	10分団
	白石消防団	1 本 部	7分団
	厚別消防団	1 本 部	4分団
	豊平消防団	1 本 部	6分団
	清田消防団	1 本 部	4分団
	南 消 防 団	1 本 部	8分団
	西 消 防 団	1 本 部	5分団
	手稲消防団	1 本 部	4分団
(10団)		(10本部)	(72分団)

2. 消 防 团 の 事 務

消防団の事務は、消防局職員課が主管となり、さらに各消防署予防課庶務係において、消防団本部と連携をとり執行している。

令和5年度中における消防団事務の概要は、次のとおりである。

(1) 任免状況

191人が退職し、新たに139人を採用し、55人が昇任している。

(2) 表彰状況

消防功労により叙勲 5 人、消防庁長官表彰 4 人、北海道知事表彰 90 人、日本消防協会会长表彰 30 人などを含め、総数 418 人、10 団体に対して表彰があった。

3. 消 防 团 の 活 動

消防団員は非常勤の地方公務員として、火災をはじめ、風水害など自然災害の有事における災害防除、さらには防火思想の普及を図るために火災予防運動など各種の活動を行っている。

(1) 災害及び予防活動等の出動状況

令和5年度中における消防団の災害等出動は、火災・水災害280人、予防及び警戒5,160人となってい る。

(2) 研修訓練等の状況

消防活動技術の向上を図るため、消防団業務計画を策定し、学科研修をはじめ各種災害を想定した訓練を実施し、延べ10,845人が出動した。

(3) その他の状況

消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具点検、消防水利調査等に延べ 10,519 人が出動した。

4. 札幌市10消防団連合協議会 (平成17年4月1日設立)

全市的な消防団の施策を展開するため、各消防団相互の横断的な情報の共有及び各消防団管轄区域の地域実情に応じた消防団活動を実施し、これらを包括的に支援し、消防団本来の任務を達成するため設立された。

5. 消防団協力事業所表示制度 (平成19年10月1日施行)

消防団と事業所の協力体制を促進するため、消防団に協力している事業所に対し、社会貢献の証として表示証を交付する制度を発足した。交付事業所数は令和6年4月1日現在49事業所となっている。

消防団員定員現員状況（令和6年4月1日現在）

(単位：人)

区分	総数	団長	副団長	分団長 (本部長を含む)	副分団長 (副本部長を含む)	部長	班長	団員	
総数	定員	2,150	10	20	82	88	270	414	1,266
	現員	1,668	10	20	82	84	224	329	919
	(女性)	403	-	(2)	(1)	(13)	(45)	(93)	(249)
中央	定員	279	1	2	14	15	38	64	145
	現員	199	1	2	14	12	24	41	105
	(女性)	44	-	(1)	-	(1)	(4)	(12)	(26)
北	定員	298	1	2	12	13	39	61	170
	現員	247	1	2	12	13	38	50	131
	(女性)	55	-	-	-	(1)	(7)	(9)	(38)
東	定員	299	1	2	11	12	39	59	175
	現員	234	1	2	11	12	36	50	122
	(女性)	46	-	-	-	(1)	(6)	(7)	(32)
白石	定員	210	1	2	8	9	26	40	124
	現員	174	1	2	8	9	23	36	95
	(女性)	41	-	-	-	(1)	(6)	(12)	(22)
厚別	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	100	1	2	5	5	14	22	51
	(女性)	27	-	-	(1)	-	-	(7)	(19)
豊平	定員	210	1	2	7	8	25	37	130
	現員	137	1	2	7	8	16	30	73
	(女性)	39	-	(1)	-	(4)	(4)	(16)	(14)
清田	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	100	1	2	5	5	11	19	57
	(女性)	27	-	-	-	(2)	(2)	(5)	(18)
南	定員	250	1	2	9	10	31	47	150
	現員	187	1	2	9	9	25	35	106
	(女性)	48	-	-	-	(1)	(8)	(9)	(30)
西	定員	200	1	2	6	6	24	34	127
	現員	184	1	2	6	6	21	26	122
	(女性)	40	-	-	-	-	(4)	(8)	(28)
手稻	定員	144	1	2	5	5	18	26	87
	現員	106	1	2	5	5	16	20	57
	(女性)	36	-	-	-	(2)	(4)	(8)	(22)

(注) 女性団員数は内数である。

消防団員任免状況（令和5年度中）

(単位：人)

区分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稻
採用	139	18	27	10	15	17	17	10	6	11	8
昇任	55	6	8	4	5	2	11	9	6	-	4
退職	191	20	37	25	17	10	25	21	7	19	10

消防団員表彰状況（令和5年度中）

(単位：人、団)

区分	総数	功労などの賞	永年勤続	優良消防団	退職消防団員
総 数	428	45	345	10	28
叙勲	5	5	-	-	-
消防庁長官	4	-	4	-	-
知事	90	4	86	-	-
市長	142	-	104	10	28
団長	10	10	-	-	-
10団連会長	1	1	-	-	-
日本消防協会長	30	5	25	-	-
北海道消防協会長	146	20	126	-	-

消防団員出動状況（令和5年中）

(単位：回、人)

区分	総数		火災・水災害		研修・訓練		予防・警戒		その他	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
総数	7,047	26,804	163	280	2,104	10,845	1,231	5,160	3,549	10,519
中央	992	2,503	25	33	466	853	105	354	396	1,263
北	925	3,985	23	32	230	1,209	310	1,429	362	1,315
東	918	3,876	11	18	255	1,833	228	921	424	1,104
白石	806	2,969	17	50	247	1,315	107	400	435	1,204
厚別	576	1,835	36	50	145	730	125	366	270	689
豊平	555	2,203	9	14	169	1,066	54	180	323	943
清田	464	1,676	2	3	107	704	61	184	294	785
南	779	2,889	28	64	206	1,199	112	407	433	1,219
西	629	3,352	9	13	147	1,256	86	676	387	1,407
手稻	403	1,516	3	3	132	680	43	243	225	590

- (注) 1. 回数のうち、火災については出動した件数、他は団又は分団単位の出動回数である。
 2. その他は、消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具特別点検、消防水利調査などである。
 3. 人員は、延べ人員である。

研修・訓練実施状況 (令和5年中)

(単位：人)

区分		目的	人員
所属研修	実科・学科研修	団員として必要な知識、技術を習得し資質の向上を図る。	936
学校研修	基礎教育課程	火災予防及び消火活動上必要な基礎知識の習得を図る。	104
所属訓練	基本・応用訓練等	団員として必要な知識・技術を習得し災害対応能力の向上を図る。	3,643
	防災訓練	防災に関する知識技能の習得及び有事即応の防災体制の確立と防災思想の普及を図る。	47
訓練大会	各消防団訓練大会	団員の体力気力の鍛練と消防技術の向上を図る。	4,628
その他			1,487
合計			10,845

(注) 1. 実施人数は、延べ人数である。

2. その他は、札幌市10消防団連合協議会事業計画外に行われた各団独自の研修・訓練等(訓練礼式・ポンプ操作等)である。

年齢別消防団員数 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

区分	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
総 数	1,668 (403)	10 -	20 (2)	82 (1)	84 (13)	224 (45)	329 (93)	919 (249)
20歳未満	18 (2)	-	-	-	-	-	-	18 (2)
20～24	86 (16)	-	-	-	-	-	-	86 (16)
25～29	33 (10)	-	-	-	-	-	(1)	28 (9)
30～34	30 (3)	-	-	-	-	-	3	27 (3)
35～39	90 (18)	-	-	-	-	2	11	77 (17)
40～44	153 (44)	-	-	1	2	7	22	121 (39)
45～49	247 (63)	-	-	1	5	22	43	176 (46)
50～54	304 (85)	-	-	8	7	37	89	163 (52)
55～59	246 (61)	-	2	10	19	52	56	107 (35)
60～64	194 (43)	2	5	23	23	39	41	61 (16)
65歳以上	267 (58)	8	13	39	28	65	59	55 (14)

(注) () は、女性団員数で内数

勤続年数別消防団員数 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

区分	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
総 数	1,668 (403)	10 -	20 (2)	82 (1)	84 (13)	224 (45)	329 (93)	919 (249)
1年未満	129 (42)	-	-	-	-	-	-	129 (42)
1～4	321 (89)	-	-	1	1	2	7	310 (86)
5～9	324 (97)	-	-	1	2	4	61	256 (74)
10～14	255 (60)	-	1	3	6	29	98	118 (26)
15～19	227 (66)	-	-	8	14	51	98	56 (15)
20～24	179 (21)	-	-	-	(3)	(10)	(5)	30 (3)
25～29	95 (23)	-	3	15	18	32	16	11 (3)
30～34	69 (5)	2	8	20	12	15	8	4 -
35～39	33 -	-	(1)	(1)	(1)	(2)	-	1 -
40～44	28 -	4	4	4	3	6	3	4 -
45歳以上	8 -	1	-	5	1	1	-	-

(注) () は、女性団員数で内数

職業別消防団員数 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

区分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
総数	1,668	199	247	234	174	100	137	100	187	184	106
サービス業(他に分類されないもの)	184	24	27	33	22	8	13	10	23	16	8
医療、福祉	129	18	20	13	11	10	8	12	7	19	11
運輸業、郵便業	72	6	5	8	11	11	7	2	9	9	4
卸売業、小売業	232	34	23	33	17	10	27	12	31	34	11
学術研究、専門・技術サービス業	50	10	6	7	6	4	4	3	4	6	-
教育、学習支援業	33	7	4	3	4	1	2	3	1	6	2
金融業、保険業	53	11	9	4	9	3	1	2	9	2	3
建設業	222	9	47	35	22	8	12	16	25	30	18
公務(他に分類されるものを除く)	34	3	6	3	3	3	-	6	2	5	3
鉱業、採石業、砂利採取業	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1
宿泊業、飲食サービス業	64	10	8	8	1	2	4	4	19	6	2
情報通信業	26	4	7	1	3	-	5	2	1	2	1
生活関連サービス業、娯楽業	71	12	7	7	8	6	6	6	8	7	4
製造業	78	9	8	15	8	8	3	3	3	10	11
電気・ガス・熱供給・水道業	29	2	8	5	1	1	1	3	2	3	3
農業、林業	52	-	6	20	8	2	-	1	13	1	1
不動産業、物品賃貸業	81	15	12	16	11	5	7	2	5	6	2
複合サービス事業	5	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-
分類不能の産業	22	7	2	2	5	1	1	-	-	2	2
その他(学生・主婦など)	228	17	38	20	24	17	36	13	24	20	19

(注) 職業は、統計調査に用いる産業分類を定める政令(昭和26年政令第127号)に基づく産業分類による。

消防団施設・機器配置状況(令和6年4月1日現在)

区分	器具置場数	軽可搬消防ポンプ台数	車両台数
総数	73	80	4
中央	11	14	-
北	15	16	-
東	10	11	1
白石	7	7	-
厚別	4	4	-
豊平	5	6	-
清田	4	4	1
南	8	9	1
西	5	5	-
手稲	4	4	1

(注) 器具置場数には、署所内配置も含む。